

英語スピーチコンテスト県大会で最優秀賞受賞！

【令和7年10月11日】



～スピコン東海北陸ブロック大会出場決定～

10月11日(土)、第18回県高校英語スピーチコンテストの県大会が岐阜県図書館で開催され、中濃地区大会で優勝した本校3年次のジョアキーノ・レイカさんが出場しました。「Bring The Trial On!」のタイトルで、「嵐や怪物に囲まれながらも航海を止めなかったオデュッセウス。彼はどんな困難にも立ち向かった。彼を突き動かしたのは、故郷に帰ることだった。あなたにとって航海を続ける力となるものは何だろうか。」という思いをスピーチに込めました。スピーチは多くの審査員から高く評価され、レイカさんは最優秀賞(1位)に選ばれ、11月に岐阜県で開催される全国高校英語スピーチコンテスト東海北陸ブロック大会への出場が決定しました。スピーチ終了後、高校生の留学体験談を聞き、表彰式の高評においては県高教研英語部会副会長の坂本康晴様(阿木高校校長)より、江戸時代の儒学者佐藤一斎(岩村藩出身)の「一燈を提げて暗夜を行く。暗夜を憂うこと勿れ。只で一燈を頼め。」という言葉が紹介されました。そこには=人生には暗い夜道を歩くようなときもある。そんなときも、惑うことなく自身の生き方、志を信じて進めばよいのだ=という意味が込められています。東海北陸ブロック大会には一昨年、当時2年次の益田彩さんが出場し、第3位の成績を収めています。今回出場するレイカさんの健闘を願っています。高き志を信じて！

